

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 元旦ビューティ工業 株式会社
 コード番号 5935 URL <http://www.gantan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 船木 亮亮
 (氏名) 室岡 正己

TEL 0466-45-8771

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	973	10.5	△261	—	△280	—	△287	—
21年3月期第1四半期	880	△15.3	△292	—	△310	—	△289	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△37.36	—
21年3月期第1四半期	△37.63	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	5,753	940	16.3	122.42
21年3月期	6,243	1,227	19.7	159.78

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 940百万円 21年3月期 1,227百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	2,800	16.6	△260	—	△310	—	△330	—	△42.77
通期	7,400	6.9	150	33.6	50	103.3	20	△63.8	2.59

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	7,716,063株	21年3月期	7,716,063株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	33,768株	21年3月期	33,268株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	7,682,545株	21年3月期第1四半期	7,683,795株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在における事業環境及び入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、昨年からの国際金融市場の混乱などにより世界的に経済情勢は悪化しており、引き続き企業収益の減少、設備投資意欲の停滞、雇用情勢の悪化など、景気の先行きは不透明な状態が続いております。

また、建設業界においても、景気の減速感や不動産販売の不調などを受け、今後の建設投資動向については、依然厳しい状況にあります。

このような状況のなか、当社は地球環境保全に貢献できる太陽光発電屋根や、従来の金属屋根では対応できなかったビル・マンションへの防水屋根のほか、高機能・高品質屋根の普及に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期の売上高は973百万円(前年同期比10.5%増)、営業損失は261百万円(前年同期は292百万円の損失)、経常損失は280百万円(前年同期は310百万円の損失)、四半期純損失は287百万円(前年同期は289百万円の損失)となりました。

なお、当社の売上高は建設業界固有のマーケット特性により、事業年度の後半に著しく増加する傾向にあり、よって、当第1四半期の営業利益・経常利益及び四半期純利益はマイナスになっております。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の総資産は、前事業年度末に比べ490百万円減少し5,753百万円となりました。その主な要因としては、今後の売上高増加に対応して、たな卸資産が261百万円増加しましたが、当第1四半期の売上高減少に伴い売掛債権が552百万円減少したことなどによります。

負債合計は、運転資金の借入れにより借入金が増加し292百万円増加、仕掛工事の前受金が増加しましたが、仕入債務が630百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ203百万円減少し4,812百万円となりました。

純資産合計は、当第1四半期の四半期純損失の影響により、前事業年度末に比べ287百万円減少し940百万円となり、自己資本比率は16.3%になりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、前年同期に比べ増収増益となっており、業績は概ね予定通りに進捗しており、平成22年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成21年5月15日付「平成21年3月期決算短信(非連結)」の公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(棚卸資産の評価方法)

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	110,421	194,848
受取手形及び売掛金	601,178	712,116
完成工事未収入金	138,380	584,063
製品	413,413	363,999
仕掛品	14,811	15,918
未成工事支出金	375,061	155,435
原材料	672,215	678,885
その他	106,260	189,012
貸倒引当金	△565	△991
流動資産合計	2,431,176	2,893,288
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	721,088	734,226
機械及び装置(純額)	397,636	417,056
土地	1,800,463	1,800,463
その他(純額)	127,263	132,380
有形固定資産合計	3,046,451	3,084,127
無形固定資産	36,055	37,417
投資その他の資産		
その他	425,280	414,472
貸倒引当金	△185,851	△185,851
投資その他の資産合計	239,429	228,620
固定資産合計	3,321,936	3,350,166
資産合計	5,753,112	6,243,455
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,149,176	1,586,791
工事未払金	148,869	341,591
短期借入金	1,211,426	1,056,816
未払法人税等	8,415	30,828
製品保証引当金	41,377	40,831
その他	326,134	169,273
流動負債合計	2,885,398	3,226,131
固定負債		
長期借入金	1,618,579	1,480,633
退職給付引当金	256,628	254,265
その他	52,007	54,830
固定負債合計	1,927,215	1,789,728
負債合計	4,812,613	5,015,859

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,921	1,266,921
利益剰余金	△312,974	△25,963
自己株式	△13,476	△13,362
株主資本合計	940,469	1,227,595
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28	—
評価・換算差額等合計	28	—
純資産合計	940,498	1,227,595
負債純資産合計	5,753,112	6,243,455

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	880,692	973,154
売上原価	702,958	769,441
売上総利益	177,734	203,712
販売費及び一般管理費	470,572	465,304
営業損失(△)	△292,838	△261,592
営業外収益		
受取利息	108	110
受取配当金	3,006	3,006
その他	2,271	1,986
営業外収益合計	5,386	5,103
営業外費用		
支払利息	17,129	16,711
その他	6,225	7,290
営業外費用合計	23,355	24,002
経常損失(△)	△310,807	△280,491
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	425
保証債務取崩益	—	412
退職給付制度終了益	27,294	—
その他	1,397	—
特別利益合計	28,692	838
特別損失		
固定資産除却損	27	—
会員権評価損	—	500
特別損失合計	27	500
税引前四半期純損失(△)	△282,142	△280,152
法人税、住民税及び事業税	7,015	6,857
四半期純損失(△)	△289,157	△287,010

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。